

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	261	学校名	仙台市立南吉成中学校	校長名	登嶋 紀行
------	-----	-----	------------	-----	-------

## 1 テーマ『今の自分たちにできること』



## 2 取組の紹介

### ●残食を減らす取組

本校では給食の残食を減らすために、給食委員会で作成したポスターを生徒の目につきやすい場所に掲示し、残食に対する課題を意識・改善させる取組を行っています。さらに、給食センターの方をお招きしての講話では、給食の目的や食べることの大切さについてのお話を聞くことができました。

また、消費期限が近い災害用のアルファ米を活用し、防災訓練と食育を結び付けることで、食べ物の大切さを生徒に考えさせる取組も実施しました。



給食委員が作成したポスター



講話を聞く生徒たち



アルファ米を活用した防災教育・食育

### ●地域清掃

今年度も例年どおり、全校生徒による地域清掃を実施しました。日頃お世話になっている公園や夏祭りの会場など、生徒に縁のある場所のゴミ拾いや落ち葉拾いをしました。活動の最後に、町内会長さんから感謝の言葉をいただき、生徒たちは地域に貢献することの充実感を感じることができました。



落ち葉を拾う生徒と地域の方々

### ●ICTを活用したペーパーレスの取組

例年は印刷していた授業の振り返りシートやアンケート調査の用紙などをデジタル化し、Chromebookを用いた方法に移行しています。今年度はChromebookを活用した毎朝の健康観察や委員会の資料提示など、ICTで代用できるものに関しては積極的にペーパーレス化の取組を実施しました。これらの取組を通して、生徒にICTを活用することの意義に加え、限りある資源の大切さについて考えさせています。

## 3 取組の成果（児童生徒の変容）

今年度はコロナ禍による制限が徐々に緩和され、生徒たちの活動の幅も少しずつ元の状態に戻りつつあり、昨年度に比べ生徒たちは、たくさんの活動に取り組むことができました。これらの活動をおして、多くの生徒が「今の自分たちにもできること」について考えることができ、行動に移すことができました。

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	262	学校名	仙台市立松陵中学校	校長名	太田 博文
------	-----	-----	-----------	-----	-------

## 1 取組のテーマ

持続可能な取り組みを目指すボランティア活動



## 2 取組の紹介

### 1 SDGsの学習

修学旅行時に、small words TOKYOにてSDGsについて学習し、各自でアクションプランを立て、文化祭で発表し合い、啓発活動を図った。



#### アクションプラン

##### 陸の環境を守る行動をする。

積極的にゴミ拾いなどのボランティア活動に参加したり資源を無駄なく使い**限りある資源を効率よく使う**ことなどによって少しでも陸の豊かさを守ることができるのではないかと思います。**少しでも自然に貢献**できることを考え、意識することだけでも環境問題を改善できるのではないのでしょうか。

#### 松陵中学校でのアクションプラン

- ・ゴミ拾い活動を積極的にを行い、地域を綺麗にする。
- ・使い捨てのものは避け、ゴミを減らす。
- 自分たちにできることを考え、行動に移す！

#### アクションプラン

##### 公共交通機関の利用、節電など

普段の生活における移動手段で主に使われるのは自家用車でしょう。ですがそれぞれの家庭で車を使うようになり、温室効果ガスである二酸化炭素などの排出量が増えています。他にも小さな意識で地球温暖化を抑え、現状を変えられることがいくつもあつていいます。日常生活の中でぜひ取り組んでみてはどうでしょうか。

#### 松陵中学校でのアクションプラン

- ・節電を心がける
- ・近い距離の移動は徒歩や自転車を利用する
- 日常生活のちょっとした意識がSDGsにつながる！

### 2 海の落語プロジェクト

落語家立川こしらさんの「ごみ捨てガニ」の落語と井手迫義和さんから「世界の海洋汚染」のお話を聞き、環境問題について学んだ。



### 3 秋のボランティア活動

生徒会執行部が中心となり、有志の生徒による学校周辺の落ち葉掃きなどの活動を3日間行った。多くの生徒がボランティアに参加した。



### 4 ゴミの減量

生徒は、ゴミの持ち帰りを行っている。新型コロナウイルス感染症対策の一つとして始まったが、校内のゴミの減量につながっている。また、持ち帰りのゴミを増やさないように生徒の意識が変化した。

### 5 食品ロスを減らす

Chromebookを活用した健康クイズに食品ロスや調理の方たちの話を取り入れ、さらに、残食調査を行い、食べ残しを減らす意識を持たせた。



## 3 取組の成果

SDGsの理解を深めたことで、ボランティア活動に積極的に参加する生徒が増えたと思われる。生徒の中では、自分たちの行動が周囲のためになっているという、自己有用感が高くなった生徒も多くいた。今後も生徒会執行部を中心としながら、生徒たちがより自主的に行動できるようにサポートしていきたい。



# 令和4年度 社の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	263	学校名	仙台市立柳生中学校	校長名	遠藤 滋
------	-----	-----	-----------	-----	------

1 取組のタイトル, テーマ  
「企業・団体から学ぶSDGs」



2 取組の紹介

今年度の3学年は、旅行・集団宿泊の行事として関東方面への修学旅行を実施しました。その行程の中で、各企業・団体のSDGsへの取組を調べることを目的として、横浜方面への自主研修活動を設定しました。訪問を受け入れていただいた企業は次のとおりです（順不同、敬称略）。

- ・大川印刷      ・武松商事      ・横浜市資源リサイクル事業協同組合      ・石井造園
- ・神奈川大学      ・三溪園      ・株式会社サンオータス      ・TRIPLE-ef      ・JICA 横浜
- ・ハードロックカフェ横浜      ・横浜市民防災センター      ・バニラビーンズ
- ・京急電鉄      ・カップヌードルミュージアム



活動後には、プレゼンテーションソフトで学習内容をまとめ、発表会を設けました。企業を訪問した3年生はもちろん、発表を聞いた他学年の生徒も、SDGsを身近に感じ、日常生活に生かそうという意識が高まりました。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

修学旅行後、3年生は「自分たちのアクション宣言」として、17の項目から一人1つを選び、自分が家庭や学校でできる身近な取組を考えて実践しています。

例) ○家の冷房の設定温度を2℃上げる    ○買い物にはマイバッグを持参するようになる

○文房具を大切に使い、買い換えないようにする など

学校全体としても、委員会同士が連携しながら、委員会ごとの特色を生かしたSDGsへの取組を行っています（古紙の分別や教室環境の整備、いじめ防止動画の作成など）。



# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	264	学校名	仙台市立館中学校	校長名	渡部 智之
------	-----	-----	----------	-----	-------

## 1 取組のタイトル, テーマ

『身近なところから取り組もう  
～地域ボランティア活動・緑化活動・環境整備活動～』



## 2 取組の紹介

### (1) 「先生も生徒もみんなで楽しくボランティア（落ち葉拾い）」【地域ボランティア活動】

例年、地域の方々、PTA、小学校と連携して行っている「落ち葉拾いボランティア活動（みんなで楽しくボランティア）」ですが、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。そのかわりに、学年行事として学校周辺の落ち葉拾い活動を行いました。



### (2) 「校舎内・花壇の緑化活動」【緑化活動】

環境委員会の活動の一環として、校舎内の鉢花や花壇の世話をしています。教室や廊下等の鉢花には、委員が継続して水やりを行っています。花壇では、球根や花を植えたり、秋には種を収穫したりと、緑豊かな学校を目指して緑化活動に取り組んでいます。



### (3) 「雪トリーズ」【環境整備活動】

雪が積もった日、生徒会執行部の生徒が早めに登校し、校舎周辺の雪かき活動を行っています。また、ボランティアで協力する生徒もあり、安全に登校できる環境づくりに貢献しています。

## 3 取組の成果（生徒の変容）

今年度6月に3年ぶりの地域防災訓練を経験した生徒たちは、地域の一員として自分たちの力が求められていることを再認識しました。このことをきっかけに、「地域のために、学校のために、身近なところから、できるところから取り組んでいこう」という気持ちが強くなりました。上記の活動だけでなく、日頃の清掃活動やリサイクル活動、ボランティア活動などにも、より一層意欲的に取り組むようになりました。



# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	265	学校名	仙台市立広陵中学校	校長名	保角 真由美
------	-----	-----	-----------	-----	--------

## 1 取組のタイトル, テーマ

### 「熊ヶ根駅清掃と地域美化活動」



## 2 取組の紹介

本校は、青葉区の西に位置し、平成13年に大倉中学校と熊ヶ根中学校が統合し、仙台市初の統合中学校として開校しました。真向かいには、仙山線の熊ヶ根駅があります。無人駅ですが、地元住民の通勤、通学手段の要となっています。

熊ヶ根中学校の時代から続く伝統的な活動として、熊ヶ根駅の清掃活動があります。学校から清掃用具を持参し、駅舎内外を箒で掃き、窓や壁、ベンチなどを水拭きします。ホームや駅舎周辺は、ゴミ拾いをします。

今年度も、生徒会の環境ボランティア委員会が声掛けし、各学年が輪番で月に1回程度の清掃活動を行いました。例年、冬場は、駅前の雪かきを行うこともあります。



## 3 取組の成果

長年継続している熊ヶ根駅清掃活動は、地域の方々や、駅を利用する方々に広く知られるようになり、感謝の言葉を多くいただきます。過去には、東日本旅客鉄道株式会社から感謝状が贈呈されました。また、年々、ゴミのポイ捨てが減ってきていることを実感しています。生徒の生き生きと掃除をする姿が、駅利用者のマナー向上への意識につながったのかもしれない。このボランティア活動は、生徒たちの、地域の一員であるという意識を高めていると感じます。

本校の教育目標にもある、『郷土を愛し、郷土を育てる生徒』を育てていくためにも、これらの活動は、今後も継続していきたいと考えています。

# 令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	266	学校名	仙台市立錦ヶ丘中学校	校長名	伊藤 浩太郎
------	-----	-----	------------	-----	--------

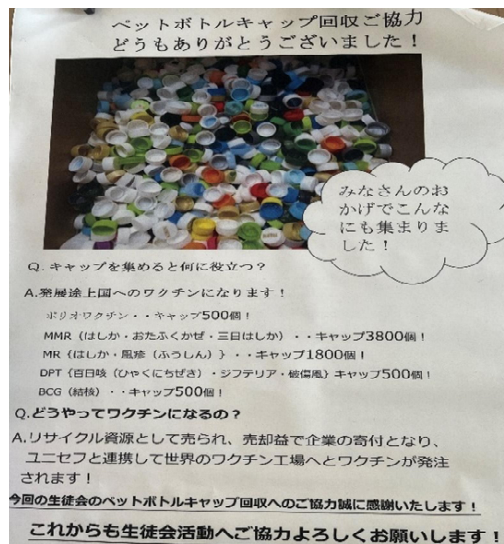
- 1 取組のタイトル、テーマ  
「自ら取り組むエコ活動」



## 2 取組の紹介

### (1) ペットボトルキャップの回収

生徒会の呼び掛けでボトルキャップの回収を行いました。各クラスで声掛けを行い、全クラス協力して活動を行うことができていました。今回、回収したボトルキャップはワクチンとなって発展途上国へ送られますに変わります。個人の小さな取組が、困っている人への大きな手助けとなることを理解し、助け合いの心を育む活動となりました。



### (2) ゴミの削減

コロナ感染対策として、スーパーのゴミ袋などを活用し、マイゴミ袋として自分で出したゴミを管理させています。始めは、感染対策のためのものでしたが、自分で出したゴミを各自で管理することで、無駄なゴミを出さないように意識する生徒が増えています。

## 3 取組の成果（児童生徒の変容）

今年度も生徒会が中心となって、エコ活動に取り組むことができました。強制的な活動ではなく、生徒が自発的に取り組み、より良い社会に貢献しようとして活動していました。SDGsについて考えるきっかけとなり、持続可能な社会について考えが深められるような活動となりました。今後も無理のない範囲で、生徒が自ら取り組めるエコ活動を推進していきたいと思ひます。



# 令和4年度 社の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	301	学校名	仙台市立仙台青陵中等教育学校	校長名	田中 充
------	-----	-----	----------------	-----	------

## 1 取組のタイトル

資源を大切にする取組



## 2 取組の紹介

### ① ゴミの分別回収，リサイクル活動

- ・分別の徹底を図るためにゴミ分別ポスターを作成し、年度初めに掲示しています。年度途中にも美化緑化委員が声掛けをして、分別の徹底を呼び掛けています。
- ・前期課程の教室には、燃えるゴミ（一般ゴミ）とプラゴミ用の2種類のゴミ箱を、後期課程の教室には、燃えるゴミ（一般ゴミ）とプラゴミ、ペットボトル用、空き缶用のゴミ箱をそれぞれ設置してゴミの分別回収を行っています。回収したゴミは、各クラスの清掃当番が、種類ごとにゴミ集積場に集めます。
- ・部活動等の際に出たゴミも、ゴミ集積所の分別指示にしたがって分別するようにしています。



- ・職員においても、印刷室に紙類の回収ボックスを置き、紙類の分別・リサイクルに努めています。また、印刷用紙の裏紙使用（職員室内のみ）も徹底されています。

### ② 給食の残食を減らす取組

- ・給食の残食を減らすことによって、環境への意識を高めようと様々な活動を行っています。給食委員による、ポスター掲示などによる呼びかけの取り組みを行っています。コロナ禍ということもあり、おかわりの奨励よりも最初に配膳されたものを残さず食べるようにという声掛けをしています。また、十分な給食時間の確保が残食を減らすことにつながると考え、スムーズな配膳ができるよう給食委員の生徒たちが取り組んでいます。

## 3 取組の成果

ゴミの分別活動は開校以来継続して実施している取組です。これによって日頃の生活にもゴミの分別回収の習慣が身に付いてきており、リサイクルをしようという意識も向上しています。生徒たちが、資源ゴミの分別・回収に対する意識が身に付いてきているように思われます。

残食は、コロナ禍であることや、その日のメニューや気温等によるところもあり、なかなか減らないのが現状ですが、活動を通じて残食を減らすことに対する意識は高まっていると思われます。